

陶器製玩具開発の支援



図1 陶製すくい物



図2 石膏型製作中



図3 展示の様子

【支援の背景】

家庭用食器を中心に製造している事業者から、コロナ禍や顧客の高齢化に伴う売上げ減少への危機感を持っているため、30～40代の若い世代向けの製品など新たな製品開発に取り組みたいとの相談がありました。

【支援内容】

事業者が、従来に無い製品で、話題づくりが見込める陶器製玩具への展開を見据え、すくい物（図1：金魚すくいの様に遊ぶ玩具）の開発を希望していたことから、当センターでは、それらに関する仕様検討の支援や製造技術に関するアドバイスなどを行いました。

陶製すくい物は、水槽での鑑賞や浴室小物としての使用なども考えられますが、今回は、水を張った水盤型の容器に浮遊展示させたのち、針金の枠に薄い紙を張った杓子（ばい）ですくい取る玩具に絞りました。事業者は、当センターと打ち合わせ等を重ね、この用途を満たす仕様を下記の通りとしました。

- ・遊戯具としてイメージしやすい金魚型の形状とする
- ・大きさは大中小3種類で、それぞれ、すくい取り用サイズ：2.5cm（小）及び3.5cm（中）、観賞用サイズ：5cm（大）とする
- ・浮遊機能を持たせるために中空構造とする

これらの条件を満たす製品を実現するため、センターにおいて、

- ・浮遊バランスを考慮した形状や肉厚
- ・中空構造の作製方法
- ・石膏型製作方法（手押し型抜き成型）

などをアドバイスしました（図2）。

【成果】

事業者が制作した陶製すくい物は「陶とくらし。KASAMA（2022. 11. 3～11. 6）」展にて展示販売され（図3）、若い客層から注目を集めることができました。

価格は2,000円～5,000円で、親子連れが購入するなど狙い通りに新規顧客開拓への手ごたえを感じる結果となりました。

今後、事業者は、売上実績・反応を見ながら、石膏型を使った商品開発について意欲的に取り組む予定です。

基礎となった事業

令和4年度 試験研究指導費（技術相談）

担当グループ

陶芸人材G

グループ長
主任研究員尾形 尚子
常世田 茂

TEL:0296-72-0316